

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 23 年 11 月 24 日 (2011.11.24)

【公表番号】特表 2011-503329 (P2011-503329A)

【公表日】平成 23 年 1 月 27 日 (2011.1.27)

【年通号数】公開・登録公報 2011-004

【出願番号】特願 2010-534208 (P2010-534208)

【国際特許分類】

C 0 9 D 123/04 (2006.01)

C 0 9 D 123/10 (2006.01)

C 0 9 D 7/12 (2006.01)

C 0 9 D 5/02 (2006.01)

C 0 9 D 133/04 (2006.01)

C 0 9 D 157/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 D 123/04

C 0 9 D 123/10

C 0 9 D 7/12

C 0 9 D 5/02

C 0 9 D 133/04

C 0 9 D 157/00

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 10 月 4 日 (2011.10.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

エチレン系熱可塑性ポリマー、プロピレン系熱可塑性ポリマー、及びそれらの混合物からなる群より選択される少なくとも 1 又はそれ以上のベースポリマーであって；前記エチレン系熱可塑性ポリマーは、エチレンと、プロピレン、 $C_4 - C_{20}$ 線状、分枝状もしくは環状ジエン、ビニルアセテート、及び、式 $H_2C = CHR$ （式中、 R は、 $C_1 - C_{20}$ 線状、分枝状もしくは環状アルキル基又は $C_6 - C_{20}$ アリール基である）により表される化合物からなる群より選択される少なくとも 1 又はそれ以上のモノマーとからなる - オレフィンインターポリマーであり；かつ、前記プロピレン系熱可塑性ポリマーが、プロピレンと、エチレン、 $C_4 - C_{20}$ 線状、分枝状もしくは環状ジエン、及び、式 $H_2C = CHR$ （式中、 R は、 $C_1 - C_{20}$ 線状、分枝状もしくは環状アルキル基又は $C_6 - C_{20}$ アリール基である）で表される化合物からなる群より選択される少なくとも 1 又はそれ以上のモノマーとからなる - オレフィンインターポリマーである、少なくとも 1 又はそれ以上のベースポリマーと；

少なくとも 1 又はそれ以上の安定化剤と；

液状媒体；と

を含む分散体と、

炭酸亜鉛アンモニウム、酸化亜鉛、及び炭酸ジルコニウムアンモニウムからなる群より選択される架橋剤と、

を含む、コーティング組成物。

【請求項 2】

セルロース系材料を含む基材と；

前記基材の少なくとも 1 又はそれ以上の表面に存在する少なくとも 1 又はそれ以上のコーティング層とを含む、コーティングされた製品であって、

前記コーティング層が、

エチレン系熱可塑性ポリマー、プロピレン系熱可塑性ポリマー、及びそれらの混合物からなる群より選択される少なくとも 1 又はそれ以上のベースポリマー；

少なくとも 1 又はそれ以上の安定化剤と；

液状媒体と；

を含む分散体と、

架橋剤と、

を含むコーティング組成物から導かれる、コーティングされた製品。

【請求項 3】

セルロース系材料を含む基材；及び

前記セルロース系基材の少なくとも 1 又はそれ以上の表面に存在するコーティング組成物

のコーティング適用製品を含むコーティングされた製品であって、前記コーティング組成物が

エチレン系熱可塑性ポリマー、プロピレン系熱可塑性ポリマー、及びそれらの混合物からなる群より選択される少なくとも 1 又はそれ以上のベースポリマーと；

少なくとも 1 又はそれ以上の安定化剤と；

液状媒体と；

を含む分散体と、

架橋剤と、

を含む、コーティングされた製品。

【請求項 4】

セルロース系材料を含む基材を選択する段階と；

エチレン系熱可塑性ポリマー、プロピレン系熱可塑性ポリマー、及びそれらの混合物からなる群より選択される少なくとも 1 又はそれ以上のベースポリマーと；

少なくとも 1 又はそれ以上の安定化剤と；

液状媒体と；

を含む分散体と、

架橋剤と、

を含むコーティング組成物を選択する段階と；

前記コーティング組成物を前記基材の少なくとも 1 又はそれ以上の表面に適用する段階と；

前記水の少なくとも一部を除去する段階と；

それにより前記コーティングされた製品を形成する段階と

を含む、コーティングされた製品を形成する方法。

【請求項 5】

1 又はそれ以上のセルロース系繊維を選択する段階と；

エチレン系熱可塑性ポリマー、プロピレン系熱可塑性ポリマー、及びそれらの混合物からなる群より選択される少なくとも 1 又はそれ以上のベースポリマーと；

少なくとも 1 又はそれ以上の安定化剤と；

液状媒体と；

を含む分散体と、

架橋剤と、

を含むコーティング組成物を選択する段階と；

前記コーティング組成物を前記 1 又はそれ以上のセルロース系繊維に添合する段階と；

前記コーティング組成物が添合されている前記 1 又はそれ以上のセルロース系繊維をウ

ェブに形成する段階と；

前記水の少なくとも一部を除去する段階と；

それにより前記コーティングされたセルロース系製品を形成する段階と
を含む、コーティングされた製品を形成する方法。

【請求項 6】

1 又はそれ以上のセルロース系繊維を選択する段階と；

エチレン系熱可塑性ポリマー、プロピレン系熱可塑性ポリマー、及びそれらの混合物からなる群より選択される少なくとも 1 又はそれ以上のベースポリマーと；

少なくとも 1 又はそれ以上の安定化剤と；

液状媒体と；

を含む分散体と、

架橋剤と、

を含むコーティング組成物を選択する段階と；

前記コーティング組成物を前記 1 又はそれ以上のセルロース系繊維に添合する段階と；

前記水の少なくとも一部を除去する段階と；

前記コーティング組成物が添合されている前記 1 又はそれ以上のセルロース系繊維をウ
ェブに形成する段階と；

それにより前記コーティングされたセルロース系製品を形成する段階と

を含む、コーティングされた製品を形成する方法。